

東京五輪期間中、福島原発復興作業は中断 海外からのお客の安全考え

リージョンプラザ上越で開催された「なくそテ原発 2021講演会in上越」に参加してきました。

講演は漫オグループ「オシドリ」のマコさんです。講演は水俣病のことからスタートし、福島原発復興と東京五輪、原発事故と健康調査、農業被害および農業者被害等について力の入った話が続きました。

このなかでは、新潟水俣病の運動があったから熊本県の水俣病がさらに大きく取り上げられるようになったことを改めて確認できました。

福島原発復興の作業の中断についての話は初めて聴くことが多く、新鮮でした。死亡事故が相次いだときは当然だと思いますが、伊勢志摩サミットで世界の要人が来たとき、そして東京五輪のとき

も作業が中断されたということです。ということは普段、私たちはいつも危険にさらされているということです。こういうことって、許されないですね。正直に、ありのままに情報を明らかにするべきだと思います。

福島農民団体のたたかいについての紹介も初めて聴くことが多かったです。このなかでは福島県農民連の皆さんが農作物だけでなく、農作業における被爆の問題を真剣に訴えていることが丁寧に紹介されていました。宅地や農地で放射線量の数値が下がっていたとしても、農地へ行くまでの道路が高いこと、農地では空中での線量ではなく、土そのもの

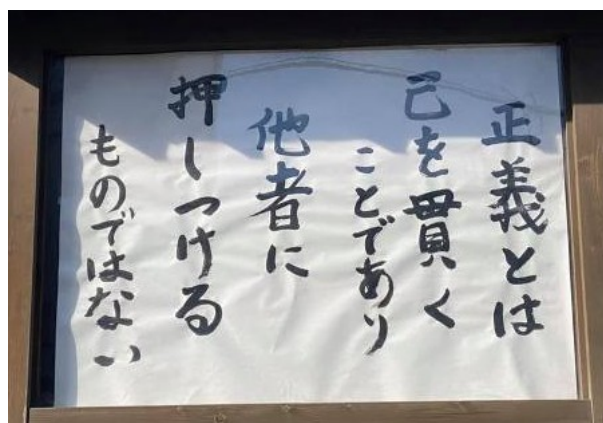


の汚染状況を把握すべきだなどの訴えは、切実でした。

農民連の皆さんが厚労省と交渉しているときの動画では、農民側の訴えの迫力がびんびんと伝わってきました。



原子力災害時の避難訓練が8日、柿崎区、吉川区などで行われました。今回の訓練では、柏崎刈羽などで震度6強の地震が発生し、柏崎刈羽原発7号機が自動停止し、放射性物質が放出されたという想定の下、屋内退避訓練、安定ヨウ素剤配布訓練、スクリーニング・簡易除染訓練などが行われました。



直江津は聴信寺の掲示板がこのほどかわりました。「正義とは己を貫くことであり 他者に押しつけるものではない」。大事な言葉と出合いました。

このうち安定ヨウ素剤配布訓練(写真)は、上越市の訓練としては初めてのものです。私はこの配布訓練を会場となった吉川小学校で見ました。中川新市長も来て見ました。訓練で配布された文書はスクリーニングの様子を視察しました。今回は大会議室ではなく、大ホールを使っていました。

原発事故時の避難については、屋内退避にたいする疑問が広がる等、さまざまな指摘が出ています。今回の訓練は限られた人数の中で行われましたが、大人数の人が集まる実際の避難のときに役立つようにするにはどうしたらいいのか、今後の大事な課題の1つです。

安定ヨウ素剤の配布訓練、初めて実施



【イヌタデ】(再掲)タデ科の1草。漢字で「犬蓼」と書きます。赤い、小さな米粒のように見えることから、多くの方は「アカマンマ」と呼んでいます。花期は長いですね。4月~11月まで咲いています。雪が降る直前まで見られるかも知れません。花言葉は「あなたのお役に立ちたい」「ただれる」。写真は11月17日、吉川区代石にて撮影しました。

はしづめ法一の
活動レポート

No.2037 2021.11.21
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

QRコード
ブログ
「ホーセの見た
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第六八四回 数十年前の写真

従弟が大きな段ボール箱を出したのには驚きました。Sさんの火葬の時間帯のことです。段ボールには結婚式の記念写真をはじめ、数十年前のスナップ写真などが貼られたアルバムが六、七冊入っていました。

待合室に入ったのは先週土曜日の午後二時半過ぎでした。一時間半ほどの火葬の間をどう過ごしたらいいのか、従弟が考えてアルバムを持ち込んでくれたのです。

この日、待合室に入っていたのは、私を含め七人です。サンドイッチパンなどで腹ごしらえしてから、それぞれがアルバムに夢中になりました。

今回、従弟が持ってきてくれたのは、従弟の家が吉川区尾神にあったころの写真です。亡くなった叔父も伯母も几帳面な人でしたから、アルバムなどは整理してあるとは思っていました。結婚式の写真、子どもの写真など一定の分類までしてあるとはびっくりでした。

私は段ボールのなかのアルバムをすべてめくりました。何よりも私やわが家関係する写真の中で、見たことのないもの、見たことがあっても、現在手元のないものがあるかどうか注目しました。また、それらについては遠慮なく、スマホで撮影させてもらいました。

最初にじっくりと見たのは虫場と半入沢の子どもの集合写真です。トキオさん、ノブちゃん、ヒトシちゃん、コイちゃん、シゲルくんなど一二人の子どもの姿が写っています。それも多くは学生服のままです。

写真は、おそらく学校帰りに、半入沢のお宮さんの前の広場でソフトボールをして遊んでいたときのものと思います。狭い場所ですので、外野の守備はなし、一つのチームに五人いれば試合ができました。虫場も半入沢も小さな集落ですが、当時は、ソフトボールの試合ができるだけの子どもがいたんですね。

次は旧源小学校水源分校の運動会写真です。いまから五十年ほど前の写真かと思えます。いまのスカイトピア遊ランドのグラウンドの東側と重なるところもありますが、グラウンドには芝生のトラックがあり、懐かしい柿の木も写っていました。

この時の写真は二枚ありました。そのうちの一枚には大人たちが鉢巻き姿でグラウンドのコーナーで左足を伸ばして立っている姿が写っていました。これはトラックとグラウンドの内側を区別して走ってもらうためのものです。当時のグラウンドのトラックは草だらけでしたからね。

さらにアルバムをめくっていくと、明らかに造り酒屋の飯場とわかる写真が出てきました。真ん中には一升炊きの飯釜、その隣には大きな鍋があつて、杜氏の藤野源吾さん（故人）、頭の高野実さん（故人）など一〇人が写っていました。この写真を見て、なぜ、造り酒屋の飯場とわかったかと言うと、私が二〇代前半の時、ひと冬だけお世話になった八王子市の小澤酒造さんの飯場だったからです。

酒造りの出稼ぎに行っていて一番の楽しみは朝、昼、晩の食事の時間でした。酒屋での私の仕事は写真の場所での「まんまし」（調理の仕事）でした。夕方になると、魚屋さんへ行って、魚の種類は記憶に残っていませんが、アラを買ってきたものです。それがまた人気でした。

この日、従弟が用意してくれたアルバムによって、従妹など何人も懐かしい写真を見つけたらびに、「若いねえ」「いい男だったこて」などと言っては笑いました。アルバムの中で私がスマホで撮った写真は全部で一八枚にのぼりました。

数十年前、写真を撮る人は限られていました。写真を撮る機会もいまよりはるかに少なかった。それだけに写真は貴重であり、思い出がたくさん詰まっています。

労災病院の対岸にあるコスモス畑のエピソード

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月10日(水)	11月17日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.070	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.060	0.053
高士分遣所	0.057	0.057



労災病院の対岸にある河川敷のコスモス畑が村山前市長の最後の挨拶の中で紹介されました。5haにもなるコスモス畑はいま、ピンクや白の花がたくさん咲いています。このコスモスは前市長の友人であるAさんが22年前、国交省と交渉し植え始めたものとのことですが、そのきっかけはAさんの友人が労災病院に入院していて、その友人を励ますためだったということ

です。満開のコスモスは最高に美しく見えたことでしょうね。素敵なエピソードを聴いて感動しました。写真は8日の昼休みに撮影しました。

おもいやり駐車場の改修工事終わる

市役所木田庁舎の正面玄関脇にある障がい者向けのおもいやり駐車場の改修工事がこのほど終了しました。

駐車場から玄関までは屋根付きとなり、段差も解消されました。これまでよりも便利で使いやすくなったと思います。あとは冬ですね。北風の影響がなければいいのですが。



春よ来い

第六八四回 数十年前の写真

従弟が大きな段ボール箱を出したのには驚きました。Sさんの火葬の時間帯のことです。段ボールには結婚式の記念写真をはじめ、数十年前のスナップ写真などが貼られたアルバムが六、七冊入っていました。待合室に入ったのは先週土曜日の午後二時半過ぎでした。一時間半ほどの火葬の間をどう過ごすか、従弟がいろいろ考えてアルバムを持ち込んでくれたのです。

今回、従弟が持ってきてくれたアルバムには、従弟の実家が吉川区尾神にあった頃の写真が貼られていました。亡くなった伯父も伯母も几帳面な人でしたから、アルバムなどは整理してあるとは思っていました。結婚式の写真、子どもの写真など一定の分類までしてあるのはびっくりでした。

この日、待合室に入ったのは、私を含め七人です。サンドイッチパンなどで腹ごしらえしてから、それぞれがアルバムに夢中になりました。

私は段ボールのなかのアルバムをすべてめくりました。何よりも私やわが家関係する写真の中で、見たことのないもの、見たことがあっても、現在手元のないものがあるかどうか注目しました。また、それらについては遠慮なく、スマホで撮影させてもらいました。

最初にじっくりと見たのは虫場と半入沢の子どもの集合写真です。トキオさん、ノブちゃん、ヒトシちゃん、コイちゃん、シゲルくんなど一二人の子どもの姿が写っています。それも多くは学生服のままです。

写真は、おそらく学校帰りに、半入沢のお宮さんの前の広場でソフトボールをして遊んでいたときのものと思います。狭い場所ですので、外野の守備はなし、一つのチームに五人いれば試合ができました。虫場も半入沢も小さな集落ですが、当時は、ソフトボールの試合ができるだけの子どもがいたんですね。

次は旧源小学校水源分校の運動会写真です。いまから五十年ほど前の写真かと思えます。いまのスカイトピア遊ランドのグラウンドの東側と重なるところもありますが、グラウンドには芝生のトラックがあり、懐かしい柿の木も写っていました。

この時の写真は二枚ありました。そのうち一枚には大人たちが鉢巻き姿でグラウンドのコーナーで左足を伸ばして立っている姿が写っていました。これはトラックとグラウンドの内側を区別して走ってもらうためのものです。当時のグラウンドはトラックもその内側も草だらけでしたからね。

さらにアルバムをめくっていくと、明らかに造り酒屋の飯場とわかる写真が出てきました。真ん中には一升炊きの飯釜、その隣には大きな鍋があつて、杜氏の藤野源吾さん（故人）、頭の高野実さん（故人）など一〇人が写っていました。この写真を見て、なぜ、造り酒屋の飯場とわかったかと言うと、私が二〇代前半の時、ひと冬だけお世話になった八王子市の小澤酒造さんの飯場だったからです。

酒造りの出稼ぎに行っていて一番の楽しみは朝、昼、晩の食事の時間でした。酒屋での私の仕事は写真の場所での「まんまし」（調理の仕事）でした。夕方になると、魚屋さんへ行って、魚の種類は記憶に残っていませんが、アラを買ってきたものです。それがまた人気でした。

この日、従弟が用意してくれたアルバムによって、従妹など何人も懐かしい写真を見つけてるたびに、「若いねえ」「いい男だったこて」などと言っては笑いました。アルバムの中で私がスマホで撮った写真は全部で一八枚にのぼりました。

数十年前、写真を撮る人は限られていました。写真を撮る機会もいまよりはるかに少なかった。それだけに写真は貴重であり、思い出がたくさん詰まっています。

7冊目のエッセイ集『じゃがじゃが煮』、11月末に発行へ



今回のエッセイ集、『じゃがじゃが煮』（1600円の予定）は、2013年2月から2014年3月までのエッセイをまとめたものです。

この間だけでも多くの人との出会いがありました。そのなかで印象に残ったことを記録しました。本のタイトルとなった料理は板倉区のSさん宅でいただいた料理です。今回の本には料理をテーマにしたものもいくつかあります。

今回も本屋さんには並びませんので、アマゾンに直接ご注文をお願いいたします。アマゾンに注文できない方は、私の携帯（090-5392-1961）にご連絡ください。お届けします。発行予定は30日頃になります。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月10日(水)	11月17日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.070	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.060	0.053
高士分遣所	0.057	0.057

おもいやり駐車場の改修工事終わる

市役所木田庁舎の正面玄関脇にある障がい者向けのおもいやり駐車場の改修工事がこのほど終了しました。

駐車場から玄関までは屋根付きとなり、段差も解消されました。これまでよりも便利で使いやすくなったと思います。あとは冬ですね。北風の影響がなければいいのですが。



春よ来い

第六八四回 数十年前の写真

従弟が大きな段ボール箱を出したのには驚きました。Sさんの火葬の時間帯のことです。段ボールには結婚式の記念写真をはじめ、数十年前のスナップ写真などが貼られたアルバムが六、七冊入っていました。

待合室に入ったのは先週土曜日の午後二時半過ぎでした。一時間半ほどの火葬の時間をどう過ごすか、従弟がいろいろ考えてアルバムを持ち込んでくれたのです。

今回、従弟が持ってきてくれたアルバムには、従弟の実家が吉川区尾神にあった頃の写真が貼られていました。亡くなった伯父も伯母も几帳面な人でしたから、アルバムなどは整理してあるとは思っていました。結婚式の写真、子どもの写真など一定の分類までしてあるのはびっくりでした。

この日、待合室に入ったのは、私を含め七人です。サンドイッチパンなどで腹ごしらえしてから、それぞれがアルバムに夢中になりました。

私は段ボールのなかのアルバムをすべてめくりました。何よりも私やわが家関係する写真の中で、見たことのないもの、見たことがあっても、現在手元のないものがあるかどうか注目しました。また、それらについては遠慮なく、スマホで撮影させてもらいました。

最初にじっくりと見たのは虫場と半入沢の子どもの集合写真です。トキオさん、ノブちゃん、ヒトシちゃん、コイちゃん、シゲルくんなど一二人の子どもの姿が写っています。それも多くは学生服のままです。

写真は、おそらく学校帰りに、半入沢のお宮さんの前の広場でソフトボールをして遊んでいたときのものと思います。狭い場所ですので、外野の守備はなし、一つのチームに五人いれば試合ができました。虫場も半入沢も小さな集落ですが、当時は、ソフトボールの試合ができるだけの子どもがいたんですね。

次は旧源小学校水源分校の運動会写真です。いまから五十年ほど前の写真かと思えます。いまのスカイトピア遊ランドのグラウンドの東側と重なるところもありますが、グラウンドには芝生のトラックがあり、懐かしい柿の木も写っていました。

この時の写真は二枚ありました。そのうち一枚には大人たちが鉢巻き姿でグラウンドのコーナーで左足を伸ばして立っている姿が写っていました。これはトラックとグラウンドの内側を区別して走ってもらうためのものです。当時のグラウンドはトラックもその内側も草だらけでしたからね。

さらにアルバムをめくっていくと、明らかに造り酒屋の飯場とわかる写真が出てきました。真ん中には一升炊きの飯釜、その隣には大きな鍋があつて、杜氏の藤野源吾さん（故人）、頭の高野実さん（故人）など一〇人が写っていました。この写真を見て、なぜ、造り酒屋の飯場とわかったかと言うと、私が二〇代前半の時、ひと冬だけお世話になった八王子市の小澤酒造さんの飯場だったからです。

酒造りの出稼ぎに行っていて一番の楽しみは朝、昼、晩の食事の時間でした。酒屋での私の仕事は写真の場所での「まんまし」（調理の仕事）でした。夕方になると、魚屋さんへ行つて、魚の種類は記憶に残っていませんが、アラを買ってきたものです。それがまた人気でした。

この日、従弟が用意してくれたアルバムによって、従妹など何人も懐かしい写真を見つけたらびに、「若いねえ」「いい男だったこて」などと言つては笑いました。アルバムの中で私がスマホで撮った写真は全部で一八枚にのぼりました。

数十年前、写真を撮る人は限られていました。写真を撮る機会もいまよりはるかに少なかった。それだけに写真は貴重であり、思い出がたくさん詰まっています。

7冊目のエッセイ集『じゃがじゃが煮』、11月末に発行へ

ニュースフラッシュ



今回のエッセイ集、『じゃがじゃが煮』（1600円の予定）は、2013年2月から2014年3月までのエッセイをまとめたものです。

この間だけでも多くの人との出会いがありました。そのなかで印象に残ったことを記録しました。本のタイトルとなった料理は板倉区のSさん宅でいただいた料理です。今回の本には料理をテーマにしたものもいくつかあります。

今回も本屋さんには並びませんので、アマゾンに直接ご注文お願いいたします。アマゾンに注文できない方は、私の携帯（090-5392-1961）にご連絡ください。お届けします。発行予定は30日頃になります。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月10日(水)	11月17日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.070	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.060	0.053
高士分遣所	0.057	0.057



柿崎は浄福寺でのチャリティコンサート。「卒業写真」「今はもうだれも」「出会えて良かった」などの名曲を楽しみました。イラストは「負けないで」の全員合唱風景です。3日。